

すこやか
Suboyaka

「令和7年の仕事始めにあたり」

「役職員のご紹介」

健康管理センター

「清掃活動の救護に参加しました」

介護老人保健施設シエモア鶴見

「シエモアのイベント報告」

健康のワンポイント

「ヒートショックを予防しましょう!」

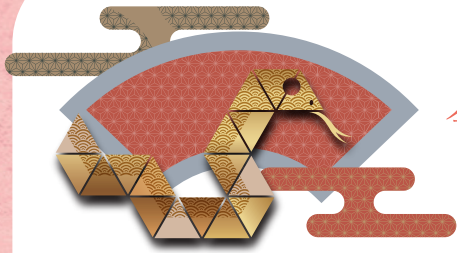


鉄輪温泉からの日の出

2025.January

Vol.616

広報誌「厚生連だより」



令和7年の仕事始めにあたり

JA大分厚生連
経営管理委員会会長

壁村 雄吉



新年あけましておめでとうございます。新年のスタートにあたり、従業員の皆さま、ともに厚生連の運営に尽力して頂いている関係者の皆さまに年頭のご挨拶を申し上げます。

まずは、年末年始に勤務され、患者さんや利用者さんへ対応されました皆さま方へ心より感謝とお礼を申し上げます。大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

昨年は、能登半島地震から始まり、夏場の記録的な猛暑、台風被害等、災害への備えを強く意識した一年でした。また、6年に一度の「診療報酬」、「介護報酬」及び「障がい者福祉サービス等報酬」の改定が行われるとともに、第8次医療計画、医師の働き方改革、第32回JA大分県大会が開催される等、節目の年でもありました。一方、スポーツ界では、夏季パリオリンピック・パラリンピックでの日本人選手の活躍をはじめ、大谷翔平選手(LAD)がメジャーリーグ史上初の54ホームラン-59盗塁の偉業達成・MVP受賞等、多くの勇気と感動を頂きました。

さて、令和7年は乙(きのと)と巳(み・へび)が組み合わさった乙巳(きのとみ)です。巳(み・へび)は、頭と身体がでかかけた胎児を描いたものとされており、植物では種子ができ始める時期と考えられています。乙巳(きのとみ)は、これまで続けてきた学びや努力を継続して物事を安定させていく年といわれています。

令和7年は、医療制度改革の重要な年であるため、役職員一丸で乗り越えていかなければなりません。ご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。最後になりますが、この新しい年が全ての人にとって良い年になるよう心からご祈念致しまして年頭の挨拶とさせていただきます。

令和7年1月6日

役職員のご紹介

〈役員〉

経営管理委員会 会長 壁村 雄吉
 経営管理委員会 副会長 畑山 耕作
 経営管理委員 藤川 浩一
 経営管理委員 土谷 朋子
 経営管理委員 小野 美智子
 経営管理委員 佐藤 隆博
 経営管理委員 矢羽田 正豪
 代表理事 垣迫 秀明
 常務理事 芦刈 誠治
 理事・院長 加賀 明彦
 代表監事 麻生 俊之輔
 監事 船石 信和

〈本部〉

統括管理室長 白石 和洋
 内部検査室長 百崎 一貴

〈健康管理センター〉

センター長 加賀 明彦
 副センター長 佐藤 竜吾
 医務部長 赤嶺 加奈子
 健康管理部長 衛藤 寛樹

〈鶴見病院〉

院長 加賀 明彦
 副院長・循環器内科医長・
 心臓病センター長・地域医療連携室長 財前 博文
 総合内科部長 池脇 淳二
 呼吸器内科部長・医療技術部長・
 診療支援部ME担当部長 岸 建志
 血液内科部長・医療安全管理室長・
 臨床研修センター長 幸野 和洋
 循環器内科部長・救急部長・ICU部長 篠崎 和宏

消化器内科部長 安部 高志
 腎臓内科部長・
 人工透析センター長 有馬 誠
 糖尿病・代謝内科部長 日高 周次
 神経内科部長 藪内 健一
 神経内科医長・脳卒中センター長 荒川 竜樹
 放射線科部長 相良 佳子
 放射線治療科医長 大塚 誠
 主任外科部長・消化器外科部長・
 肝胆膵疾患センター長 柴田 浩平
 消化管外科部長 野口 琢矢
 呼吸器外科部長 阿南 健太郎
 乳腺外科部長 末廣 修治
 形成外科部長 津田 雅由
 形成外科医長 矢野 浩規
 脳神経外科医長 亀淵 洋助
 病理診断科部長・診療支援部長 近藤 能行
 事務部長 佐藤 晴信
 看護部長 増田 勝美
 臨床検査科技師長 小野 道広
 放射線技術科技師長 西村 賢一
 放射線治療科技師長 古庄 剛

〈介護老人保健施設シェモア鶴見〉

施設長 財前 博文
 副施設長 大河原 均
 事務長 二宮 洋平



11月3日(日)、別府市中部地区ひとまもり・まちまもり協議会主催の清掃活動に昨年同様、救護要員として大分県厚生連健康管理センターの看護師が参加しました。

天気に恵まれ、親子連れ、小、中学生、地域の方々等たくさんの方が、餅ヶ浜海岸、遊歩道周辺のごみ拾い、除草作業を8:00～9:40までの1時間40分行いました。

道路沿いには、空き缶やペットボトル、ビニールごみなど様々のごみが落ちていました。毎年たくさんのごみが落ちているので驚きます。

幸い傷病者もなく無事に清掃活動を終わることができました。

救護活動は、日頃の業務と違いその場での臨機応変な対応が求められます。大変な面もありますが、地域の方々との貴重なふれあいの場を体験することができました。

大分県厚生連健康管理センターは、地域の皆さまと共に健康で豊かな生活を築いていくため、今後も積極的に地域活動に参加して参ります。





運動会を開催しました

【入所】

10月11日に恒例の運動会を開催しました。今年もご利用者さまが紅白の組に分かれて、車椅子や座ったままで出来る棒入れや的当て、応援合戦 などいろいろな競技を行いました。職員競技にも大きな声援をいただいで大いに盛り上がり、ご利用者さまからは「とても楽しく参加できました。」「職員競技が面白く、笑わせてもらいました。」などの感想をいただきました。白熱した接戦の結果、今年は紅組が優勝を勝ち取って幕を閉じました。来年も皆さんで盛り上げられるよう、健康第一で過ごしましょう。



旬の“なし”をいただきました

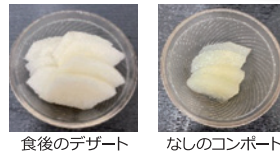


10月1日、大分県なし研究会様と大分県園芸活性化協議会様より、日田産の梨“新高”をたくさんご寄贈いただきました。

両会様は、「安心安全でジューシーな大分県産梨」を県内の高齢者施設や児童養護施設等に、元気を応援する目的で2010年度から毎年寄贈されており、このたび当施設をはじめ別府市内の4施設にご寄贈いただきました。



当施設では、食事のデザートに利用させていただきました。この時期の“なし”は特にみずみずしくて、ご利用者さまから「秋を感じる」「懐かしい」「すごくおいしい」ととても好評で、たくさんの元気をいただきました。



食後のデザート なしのコンポート



祝 ご長寿



このたびシエモア鶴見のご利用者さまが百歳のお誕生日を迎えられました。別府市長より「百歳の長寿を迎えられ、長年にわたる功績に感謝と敬意を表します」と祝意と賞状が届けられ、ご家族と一緒に祝いしました。

百歳を迎えられたご利用者さまは大正13年生まれの島末アキヨさんです。今も毎日塗り絵を楽しまれて、おもしろくお話をしてくださるかわいいおばあちゃんです。いつも職員は癒されています。これからも末永くお元気で過ごされることを祈念いたしております。



NOTICE

新しい救急車が納車されました!!



令和6年12月17日、待ち望んでいた新しい救急車が納車されました。

これまで使用していた救急車は車体本体や装備品等が老朽化している状況でしたが、病院間の患者搬送を安全に行うため、また、救急隊の負担軽減に少しでも力になればという思いから新しい救急車の更新を計画しておりました。

この救急車は高度な処置を行うことが可能な「高規格救急車」で、人工呼吸器や電動吸引器などの装備品が搭載されています。

以下、外装、内装のご紹介をいたします。



外装

大型散光警光灯が写真のように両サイドに装備されているため、走行中の点灯により視認性に優れ、事故防止に繋がります。



2. 幅広い スペース!!

後部座席が跳ね上げの可変式となっているため、医師や看護師の治療において幅広く使用できるスペースを確保できます。



3. 電動式 ストレッチャー

これまでは、動けない患者をストレッチャーへ移乗する際、ストレッチャーを手動で昇降させていたため、ストレッチャーを落としてしまう等のリスクがありました。しかし、今回導入したのは大分県内では初の電動式であり誰でも力をかけずに取扱うことができるため、無理なく活動可能になりました!!



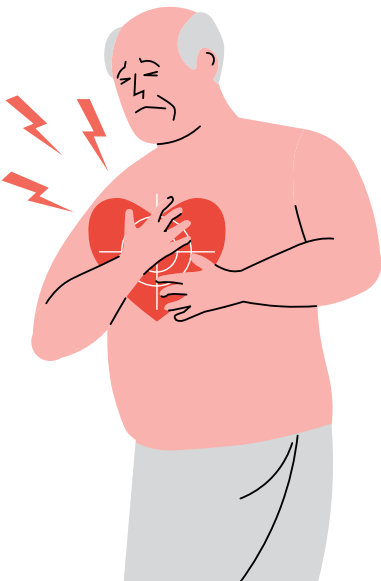
以上、この新しい救急車を存分に活用し地域医療に貢献していきます。

ヒートショックを予防しましょう!

ヒートショックとは

急激な温度変化により身体が受ける影響のことで、暖かい居間からまだ冷たい浴室、脱衣室、トイレなど、温度差の大きいところへ移動すると、身体が温度変化にさらされて血圧が急変し、脳卒中や心筋梗塞などを引き起こします。

とくに冬場の入浴では、暖かい居間から寒い風呂場へ移動するため、熱を奪われまいとして血管が縮み、血圧が上がります。お湯につかると血管が広がって急に血圧が下がり、血圧が大きく変動することになりますので、要注意です。



ヒートショックの危険性が高い人

高齢者は特に注意すべきです。日頃元気な場合でも、高齢者は血圧変化をきたしやすく対応を維持する生理機能が低下しています。また、高血圧、糖尿病、肥満体質の方も注意が必要です。

脱衣所や浴室、トイレへの暖房器具設置や断熱改修

冷え込みやすい脱衣所や浴室、トイレを暖房器具で温めることは、効果的なヒートショック対策の一つです。

浴室に暖房設備がない場合は、「湯を浴槽に入れるときにシャワーから給湯する」、「浴槽の湯が沸いたところで、十分にかき混ぜて蒸気を立て、蓋を外しておく」などして、できるだけ浴室内を暖め、温度差が小さくなるように工夫しましょう。

大分県厚生連健康管理センター
農協関係者健診受診者数

JA名	エリア名	受診者数	
JA おおいた	東部エリア	国東	179
		姫島	0
		杵築	139
		山香	1
	中部エリア	大分	68
		由布	37
	南部エリア	臼杵	67
		野津	18
		佐伯	29
	豊肥エリア	豊後大野	49
		竹田	50
	北部エリア	豊後高田	43
		中津	81
		宇佐	37
		安心院	19
西部エリア	日田	66	
	玖珠	65	
	九重	10	
JA べっふ日出		100	
大分大山町農協		12	
下郷農協		7	
合計		1,077	
11月受診者数		4,025	

編集後記

2025年になり新年がスタートしました。皆さんは新しい未来に向かって何か目標は立てたでしょうか? 寒暖差が激しい日もありますので、体調を崩さない様にして、今年も1年頑張っていきましょう。

N.S

